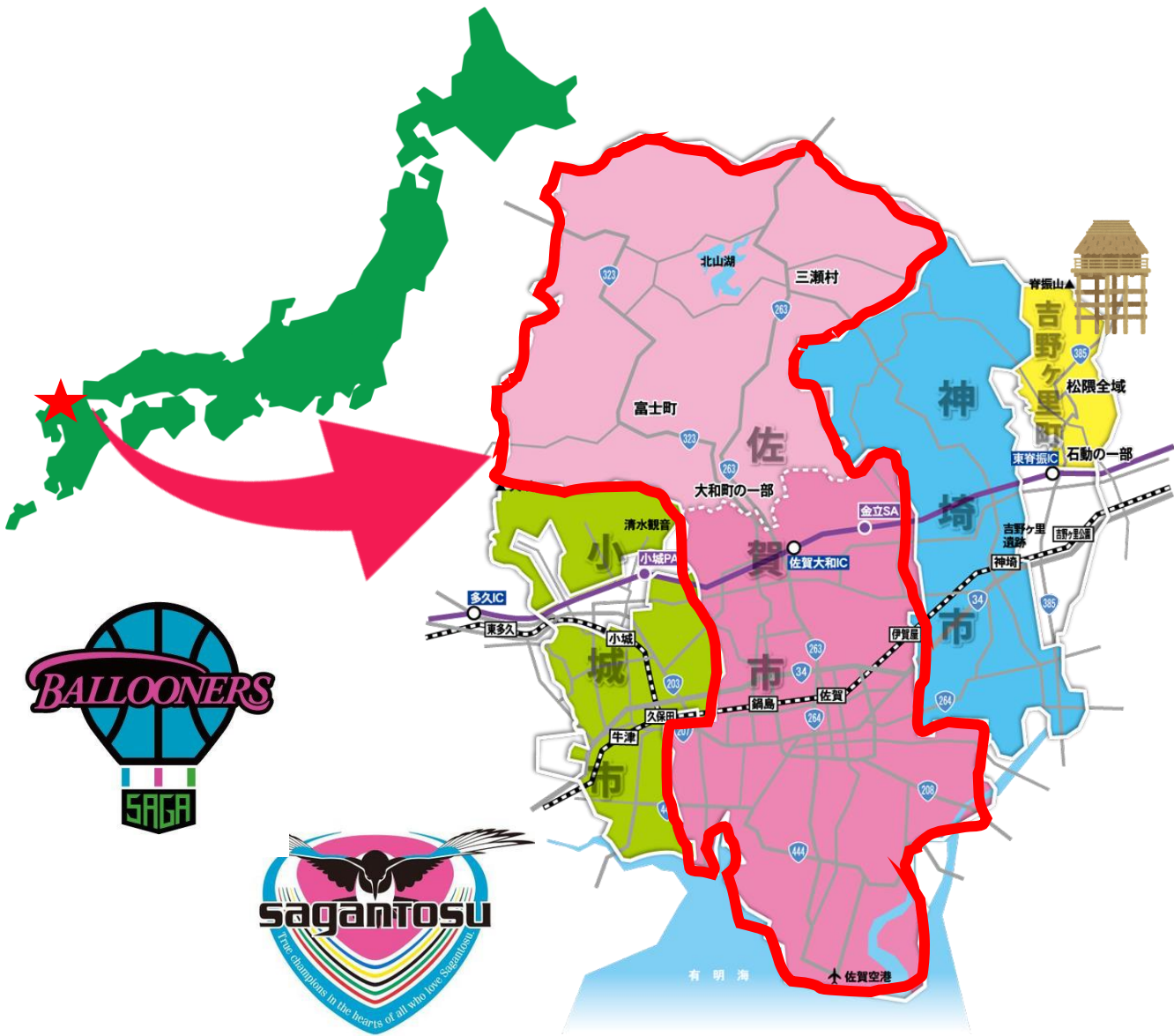




繋がることで  
一歩ずつ前に  
当事者とともに

佐賀県佐賀市金泉地域包括支援センター  
認知症地域支援推進員 真子 紫布

# 佐賀市の概要 (令和5年3月末時点)



人口: 228,680人

高齢者人口: 66,536人

高齢化率: 29.1%

日常生活圏域数: 15

地域包括支援センター: 15 (直営1 委託14)

認知症地域支援推進員: 15人 (専任1 兼務14)



# 認知症本人と出逢うきっかけ

認知症の方の家族から  
相談依頼がきています



どうしたらいい？  
私に何かできる？

不安...不安...  
不安...

あはは





# 悩みの突破口

認知症介護研究・研修東京センター / 認知症地域支援推進員連絡会 (すいしんいんネット) 共催

## すいしんいんセッション

～ 推進員仲間を増やそう！ オンラインでつながろう！ ～  
＜全国各地の仲間と出会う、活動をもっと楽に楽しく！＞

2023年1月11日(水) 15時00分～17時00分

申込受付をスタート！ 先着900名

オンライン (zoom) 無料

各市町村に配置されている認知症地域支援推進員の活躍の機会や活動内容が年々広がってきています。

一方で…

- ◆ 何役も兼務して忙しすぎる。どう活動を進めていけばいいのかわからない。
- ◆ 推進員研修に参加したけど、推進員としてなかなか活動ができない…。
- ◆ 研修だけではなく、ふだんの中で他地域の推進員とつながりたい、話しあいたい。などなど、他地域の推進員等との本音の情報交換を求める声が多数あがっています。

そこで、今年度の「すいしんいんセッション」のテーマは・・・  
すばり！！～ 推進員仲間を増やそう！～ です。

今回は、全国各地から6名の推進員・元推進員が、これまでの出会いとつながり、そして、ともに知恵や力を出しあいながら活動した経過と実際をリアルに伝え、「推進員仲間がつながる」ことの大切さを語りあいます。

研修とは一味違う、オンラインを利用した、ライブの楽しいセッションです。

- ◆ 今年度、推進員研修を受けたばかりの方も、既に活動を続けてこられている方もお気軽にご参加ください。
- ◆ 参加して下さる皆さまからの質問をQ&Aで受け付けます。受け付けられない点については、セッション後、DC ネットに掲載します。

対象：認知症地域支援推進員、施策担当者、関係者

\*申込み多数の場合、同じ地域の参加(アカウント数)を調整させていただきます。

申込方法：詳しくは裏面をご参照ください。

プログラム等：詳しくは裏面をご参照ください。

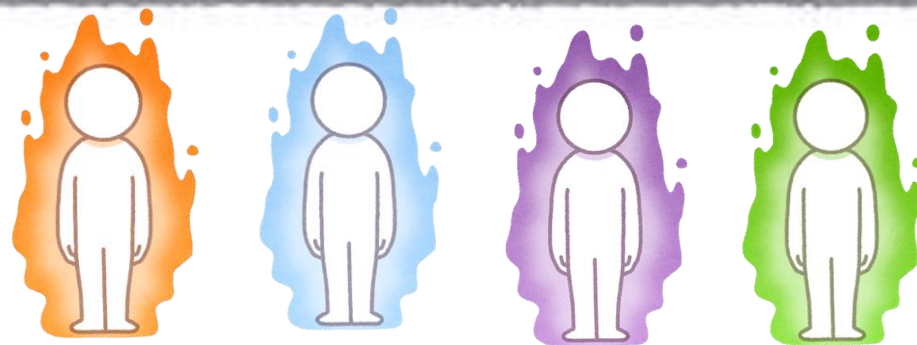
申込締切：2023年1月6日(金) 正午 \*定員ご達したら締切となります。

【連絡・お問い合わせ先】

認知症介護研究・研修東京センター 担当

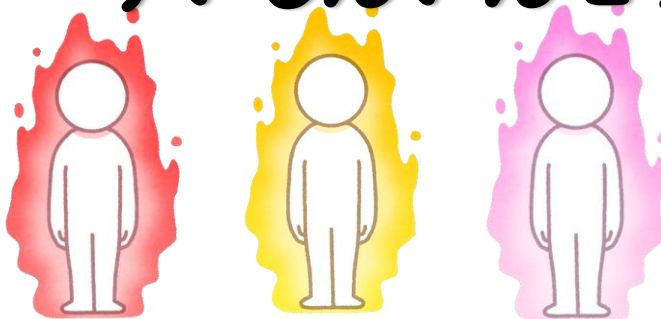
E-mail: suishinin@dcnet.gr.jp

令和5年1月  
すいしんいん  
セッション



令和5年度

## すいしんいんセッション



# 推進員と繋がる



鳥取市 金谷さん

つながる



佐賀市 真子



金谷さんからのアドバイス

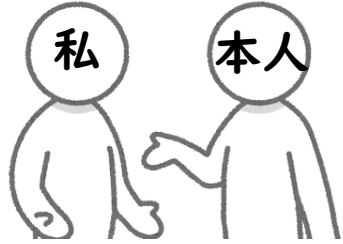
- 相談してもらったことへの感謝
- 介護保険の申請 **×**  
一緒に今後のことを考えていく **○**
- 本人の心の中を感じとる
- 認知症をポジティブへ転換



# 当事者との出逢いと“声”



初めまして  
(金谷さんのアドバイスを参考に)



コーヒーと  
お菓子大好き



外に出て、  
誰かの役に立つ  
ことをやって  
みたいな～



何度もお会いする中で

待って。  
迷惑かけたら  
どうするの？



本人さんの  
声が聞けた!!



## 本人の“声”にヒントがたくさん



- 誰かの役に立ちたい
- 家の外で何かやりたい
- コーヒーとお菓子はとっても好き
- 洗濯たたみは毎日やってて好き
- 一人でやるのは寂しい

- 引っ越してきて十数年なので近所に知人はいない
- 昔住んでいた所は車で30分以上かかる
- 家族だけの交流だと認知症が進行しないか心配
- 人と話すのは好き





# 活動の場の選択

行ってみたい  
場所や  
なじみの  
場所はない  
ですか？



母が生活していた  
施設は、よく会い  
に行っていたから  
安心かも。



## ひとつひとつ本人と“一緒”に考える

- 母が住んでいた施設はなじみがある
- 知っている職員もいるかも
- 慰問でも行った「日本舞踊を少しね♡」
- 傾聴ボランティアでも行っていた




# パートナーとの出逢い

- ① 施設見学と面談
- ② ボランティア体験



ひとつひとつ本人と“**一緒**”に考える

- コーヒー好きの人がいいな～ 
- 女性がいいな～
- 元気で明るい人がいいな～



私も嬉しい  
です♡よろしく  
お願いします。

この歳になって  
友達ができる  
なんて嬉しい♡





自分のことは  
自分で決めたい

できることは  
まだたくさんある

これからも  
楽しい生活を送りたい

今度は映画を観に行くよ 

# 新たな出逢い

認知症サポーター養成講座 (R5.10.30 金立小学校 4年生)

保護者 各位

認知症について学ばれましたので、内容についてご報告します。

認知症は、誰もがなる可能性がある“**脳の病気**”です。

日本人の平均寿命は、男性は81.50歳、女性は87.05歳(令和5年7月厚労省発表)。寿命は著しく伸び、日本は本格的な高齢社会に突入しています。認知症の高齢者も年々増加し、2025年には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると推計されています。30歳代や40歳代など、若い人でも認知症になる場合があります。

古い認知症観から新しい認知症観へ 今が大切な転換期です。

## 古い認知症観

(他人事、問題重視、疎外感、絶望)

- ①他人ごと、目をそらす、先送り
- ②認知症だともわからない、できなくなる
- ③本人は話せない/声を聞かない
- ④おかしな言動で周りが困る
- ⑤ 危険な人
- ⑥周囲が決める
- ⑦本人は支援される一方
- ⑧認知症は恥ずかしい、隠す
- ⑨地域で暮らすのは無理
- ⑩暗い、萎縮、あきらめ、絶望的

## 新しい認知症観

(わがごと、可能性重視、ともに、希望)

- ①わがごと、向き合う、備える
- ②わかること、できることが豊富にある
- ③本人は声を出せる/声を聞く
- ④本人が一番困っている。本人なりの意味がある。
- ⑤ あたりまえのこと。
- ⑥本人が決める(決められるように支援)
- ⑦**本人は支え手でもある。支え支えられる関係**
- ⑧認知症でも自分は自分、オープンに
- ⑨**地域の一員として暮らし、活躍**
- ⑩楽しい、のびのび、あきらめず、希望を

認知症かもしれないと思った時、早く受診・相談することはとても大切です。

●●早く相談すると…●●○

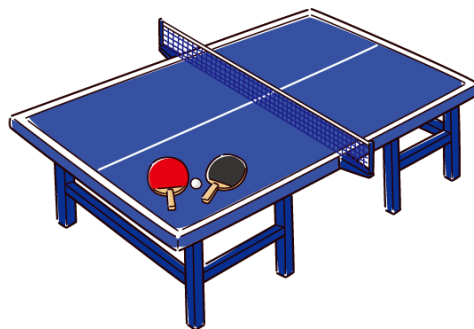
- ① 認知症について少しずつ理解を深めることができる
- ② 自分の今後のことを自分で決めることができる
- ③ 家族は、認知症の備えができる
- ④ 理解ある人に会え、よりよく生きる時間とヒントを得ることができる

どこへ相談したらいいの？

まずは**かかりつけ区**に相談しましょう。

また、お住いの地区にある**おたっぴ本舗**の**認知症地域支援推進員**へご相談ください。  
認知症地域支援推進員がこれからの生活のことを一緒に考えます。

令和5年10月末  
小学校認知症  
サポーター養成講座  
保護者宛文書



本人の“**声**”から

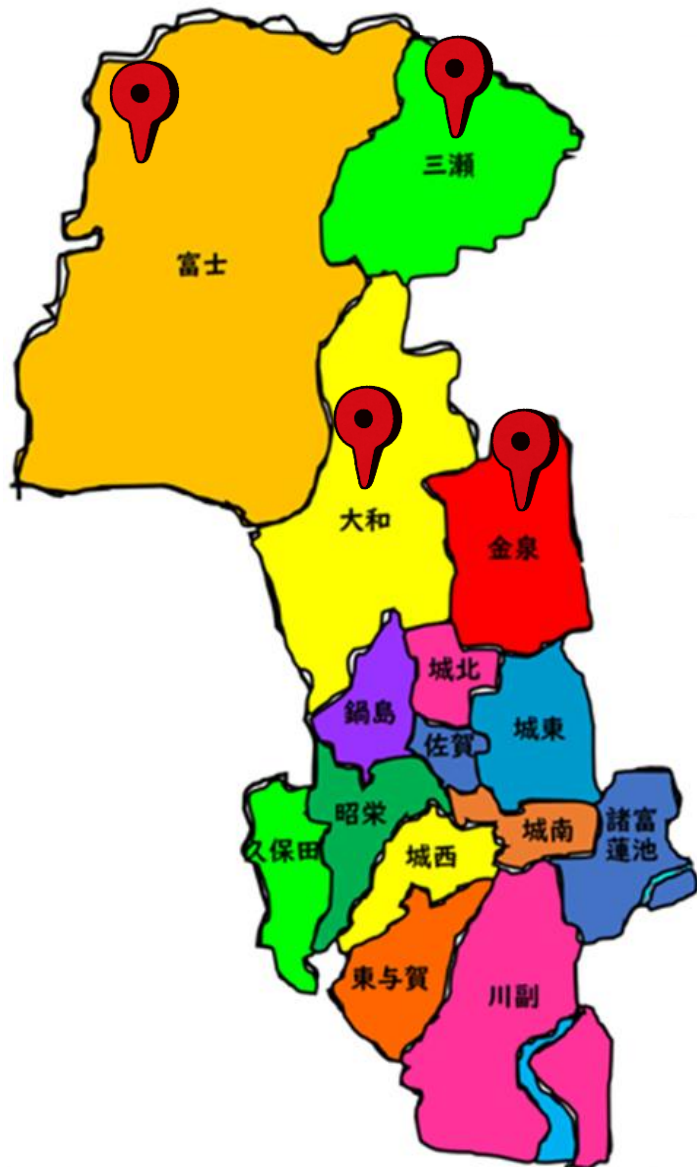


- 卓球がしたい
- 自分の力で体育館まで行きたい
- 当事者の人と話がしてみたい





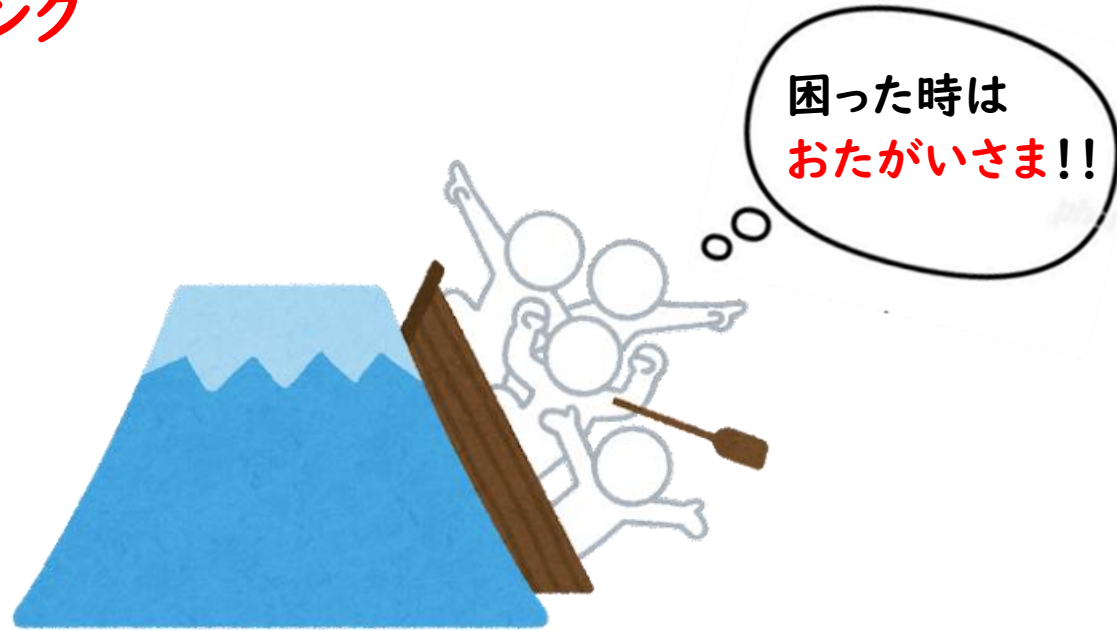
# 近隣の推進員と一緒に



## 事例検討会 (近隣の推進員4名)

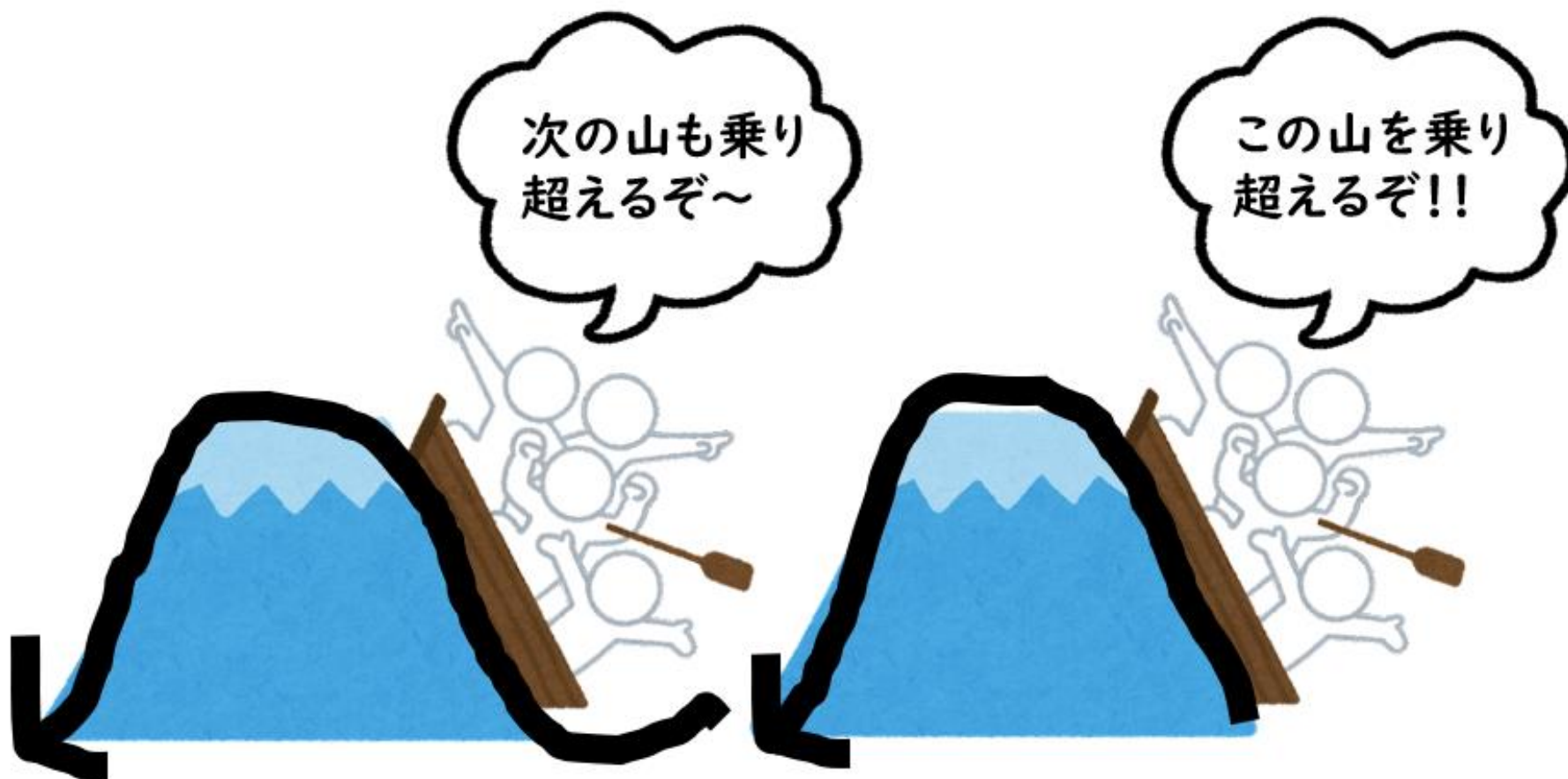


- ★ 情報共有(どんな活動してるか)
- ★ 悩み相談(個別支援や活動)
- ★ 検討会(個別支援のアプローチ方法など)
- ☆ 本人ミーティング



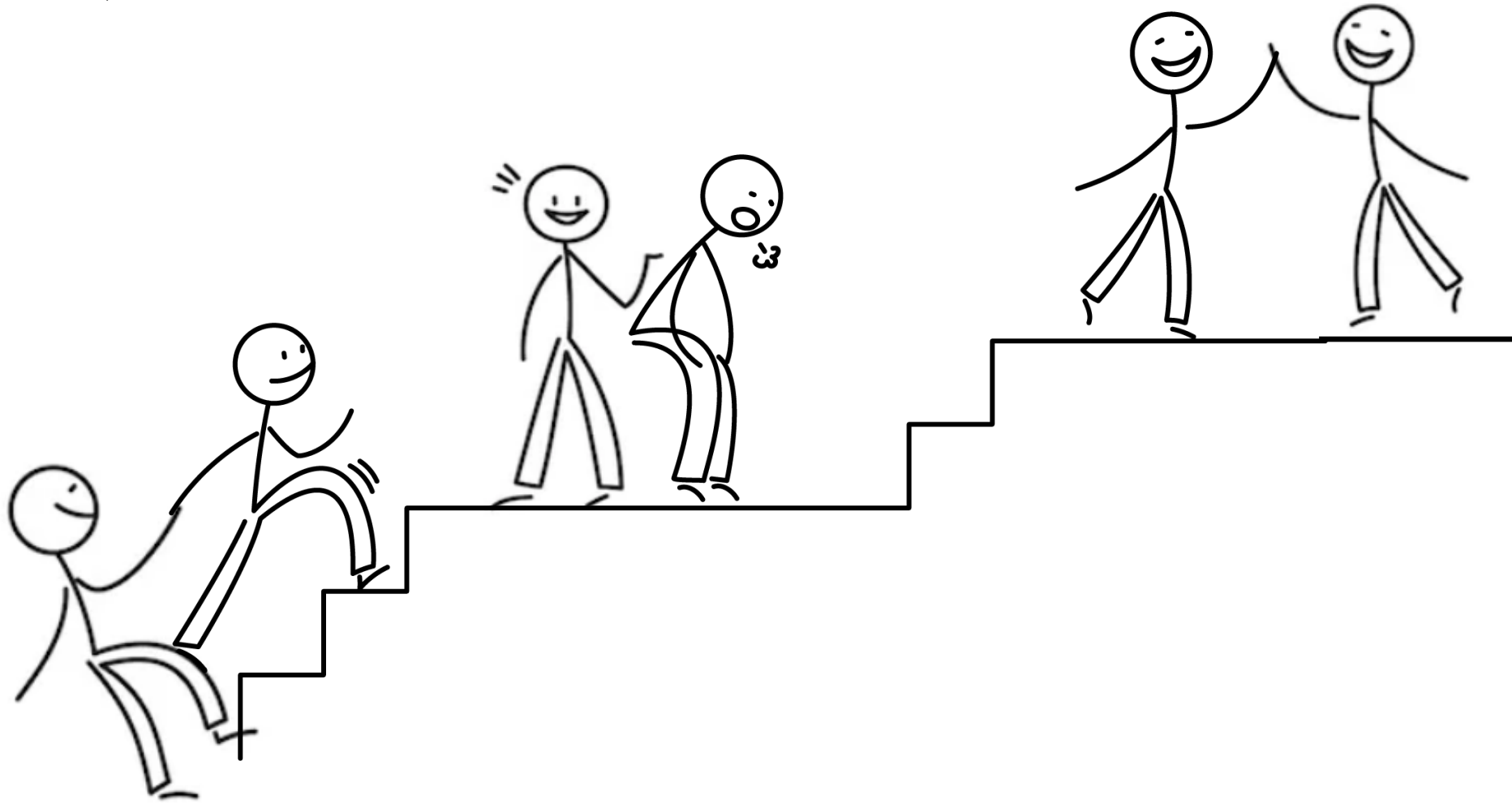
# まとめ

出逢いと繋がりが前に進む後押しになることもある





一步、一步



本人とともに

ご清聴  
ありがとうございました

